

月例報告書

国際文化学科 3年 玉谷天音

こんにちは。フランスはすっかり春模様です。最近は、暖かかったり暑かったり、かと思えば雨が降ったりと春らしく、景色も天気も豊かです。皆さん、サマータイムをご存じですか。4月初週の土曜日から日曜日に代わるタイミングで時間が一時間ずれるというシステムです。私は実際に深夜1時から2時を飛ばして3時なる瞬間を見ていました。時計が急に一時間ずらされたようなものですが、その結果今は21時まで外は明るいということを経験しています。最初は21時まで明るいなんて、！と思っていましたが、何事も時が経てば慣れてくるもので、自分の適応力に驚きつつあります。



<Opera de Dijon>

4月の頭に二回、ディジョンの劇場にダンスを見に行きました。こちらに来てから、一人で何かに参加するのは初めてでちゃんとチケットが受け取れるか、席にたどりつけるか、ドキドキしていましたが、意外と難なくできました。公演は二つとも素晴らしかったです。近くでこんな舞台が見られることがさすがフランス、とても恵まれているなと思いました。

ひとりで行動するのは怖いところもありますが、失敗しても何しても、いい機会です。自信になるし、今後の勉強のやる気にも繋がります。私自身、一人で行動すること自体は苦ではないので、もっと一人の行動範囲を広げていけたらと思っています。もちろん、安全性を事前によくよく考えて。

<Ekimae cafe>

最近毎週木曜日ここに通っています。ここは日本人の女性が経営するお店で、毎週木曜日にフランス人と日本人の言語交流会を行っています。私が通っているのは語学学校なので、フランス人と関わる機会はほとんどなく、様々な国から来たフランス語を学ぶ外国人との交流が主です。フランス語を流暢に話す学生もいますが、やはりネイティブの方々を見ると、使っている単語やトピック、雰囲気などが違うなと毎回勉強になっています。といっ

でも日本が好きな日本語を勉強しているようなフランス人の方が来るので、自国の話もよく話題になります。お互いに拙い会話をしているので、聞き取りや理解が至らず悔しいこともあります。でも、実際に会話をするとてもいい機会になっています。そして、なんといってもここで食べられるご飯が美味しい。ちゃんと日本食です。しかも家庭料理な。ここにきて食べたいのは、高級な刺身でも天ぷらでもお店で食べるような洗練された日本食ではなく、家庭で食べるような安心の味です。カレーライス、麻婆豆腐、から揚げ、お家を出てくるような食事をここで食べることができます。勉強も日本食もいただける素敵な場所です。ここでちゃんとしたフランス語での会話をできるようになることがひとまずの目標です。

<ブルターニュ>

4月のテストが終わり春休みになりました。せっかくの春休みですからどこか行きたい、とブルターニュ地方へ行く計画を立てました。ブルターニュはもとフランスではなく、そこにはケルト人が生活していました。そのため独自の文化が残っており、今でも多くの人がある文化や食事を楽しみにブルターニュを訪れます。私は今回、ブルターニュの海岸沿い、サン・マロというところに行ってきました。サン・マロに到着して初めて見た海には息をのみました。漂う空気感や、波の音、そこでの生活を垣間



見ました。滞在は Airbnb を使って、ホームステイのような形のお家に泊まらせてもらいました。最初からホテルではなく、民泊が良いと思っていたので、とてもいい宿を見つけることができました。宿の方はとても優しく、夜にはコーヒーを淹れてくださり、二人で楽しく団欒しました。そこに生活する人の様子を感じることができたし、自分のフランス語の練習にもなり、これから旅行に行くときもこのシステムを使っていきたいと思いました。サン・マロの海はとてもおもしろく、一日中海岸に居続けることができるほどでした。レストランで食事をし、その土地の食ももちろん楽しみました。あと二日ぐらいいたかったけど泣く泣く帰宅。素敵な町でした。

